

新規加盟団体紹介

壮雲流 日本謙信道壮麗吟詠会（登録会員）

私共、壮麗吟詠会では、以前、狭山市吟詠連盟として他団体と一緒に当連合会には参加させていただいておりました。そして昨年、令和2年2月23日に父、初代宗家小湊壮雲が永眠し、3月よりコロナが拡大し4月には緊急事態宣言となりやむを得ず8月まで休会となりました。また今年、令和3年4月には母が永眠……

父と母は「継続」という言葉を私に残しました。会を存続という意味もあったと思いますが、「継続は力なり」とても深い言葉だと思いました。私は父、母の為に会を繋いでいかなければと、このコロナ禍で次々イベントやコンクールが中止となる中で、今後どうすべきかと本当に悩み、どのように目標を持ってもらうかを必死に考えました。

そして、会報「桜便り」を4回程出し、「会員の皆様が主役」をモットーに、会員の皆様がコロナ禍でどんな風に過ごされているのかアンケートをまとめました。和歌や俳句を詠んでくださる方や、健康法や日常楽しかった事、次回のコンクールの為に頑張っている事、等々……

また、それを会報に載せる事で励みになって元気もらった、など声が聞こえてきました。私自身も励みになり、黄泉にいる父や母にも報告ができました。

そうやって会の事を考え悩んでいる時に、狭山市中央公民館の市民文化祭の委員会にて、当連合会の小川会長と出会いました。その出会いは私の中ではとても大きく、芸術祭という新しい目標が出来、早速幹部の皆さんに加盟を相談したところ、快く皆さん承諾して下さいました。

私は、幹部の方や会員の皆様に支えられながら今日があるのだと思います。小川会長との出会いに本当に感謝の気持ちで一杯です。

そして、芸術祭や他行事等、出場するという目標を持てる事の素晴らしさ、プロセスの大切さ、人生の糧となるよう会員一同精進して参りたいと思います。まだまだ未熟ですがどうぞよろしく願い申し上げます。

壮雲流 日本謙信道壮麗吟詠会 二代宗家 小湊 壮雲（倉本 桜麗）



事務局便り

9月30日に緊急事態宣言が解除され、10月から狭山市の公共施設の使用が可能になりました。文団連も活動再開いたしました。まだまだ気が抜けませんが、新型コロナ感染症に気を付けながら前進しましょう。

今年度2団体の入会がありました。団体会員「入曾映画を創る会」（代表：栗原光男さん）と、登録会員「壮雲流 日本謙信道壮麗吟詠会」（代表：小湊壮雲さん）です。順次ご紹介しますが、今回は壮麗吟詠会さんです。よろしくお願いいたします。

事務局長 藤寿紫峰